【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2006-514332(P2006-514332A)
【公表日】平成18年4月27日(2006.4.27)
【年通号数】公開・登録公報2006-017
【出願番号】特願2004-568609(P2004-568609)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｄ　3/18　(2006.01)
Ｇ１０Ｄ　1/02　(2006.01)
Ｇ１０Ｇ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｄ　3/18
Ｇ１０Ｄ　1/02
Ｇ１０Ｇ　5/00

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月6日(2006.10.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バイオリン又はバイオリンと似た楽器と共に使用するための、肩に係合するブリッジを有する肩当てであって、前記ブリッジが、
（ａ）上面（１２）、下面（１４）、第１の端部（１６）、第２の端部（１８）、及び前記下面（１４）に固定されたクッション部分（１９）を有する細長い本体（１０）と、
（ｂ）関連する楽器と係合するために、前記本体（１０）の各端部（１６、１８）に１個ずつ配置された１対の略フォーク状の締め付け部材（１１０）と、
（ｃ）脚部（５２）と直立部分（５３）とを有する略Ｌ字形の支持体（５０）とを有し、
（ｄ）前記締め付け部材（１１０）の一方が、前記直立部分（５３）に取り付けられており、
（ｅ）前記脚部が、前記第１の端部（１６）の近傍において前記上面（１２）と一致し、本体（１０）の長手方向に摺動可能であり、
（ｆ）支持体脚部ガイド手段であって、
（ｉ）本体（１０）の長手方向に延在するスロット（２０）と、
（ｉｉ）前記脚部（５２）の前端の近傍に設けられ、前記前端をスロット（２０）に沿って摺動的に案内するように且つ前記前端が、前記下面（１４）から前記上面（１２）に向かう方向に変位するのを防ぐように構成された第１のガイド部材（６０、６２）と、
（ｉｉｉ）前記脚部（５２）の前端から離れた位置に配置され、脚部（５２）をスロット（２０）に沿って摺動的に案内するように構成された後方ガイド手段（３０、１０８）とを含む支持体脚部ガイド手段と、
（ｇ）本体（１０）の下面（１４）の方に向けられた圧力板（２６）を含み、且つ前記脚部（５２）の前端から離れた前記位置で本体（１０）に固定された圧力印加手段（２６、９０）と、
（ｈ）前記圧力板（２６）と本体（１０）の下面の間に配置され、圧力印加手段（２６

、９０）が上昇したときに圧力板（２６）と下面（１４）の間で圧縮されるエラストマー制動パッド手段（３６）と、
（ｉ）ブリッジの前記上部（１２）に配置され、圧力印加手段（２６、９０）及び支持体（５０）と作動的に関連付けられ、前記圧力板（２６）を前記下面（１４）に近づく方向又は離れる方向に選択的に変位させて、前記エラストマー制動パッド手段（３６）を下面（１４）と係合させるか又は切り離し、それにより支持体（５０）を本体（１０）に固定するか或いは解放して本体（１０）に沿って自由に摺動させる制動力作用手段（４８、９０、４４、５４）と、
（ｊ）支持体（５０）を本体（１０）に固定するのと同時に、支持体（５０）を前記第１の端部から長手方向に遠ざかる方向に移動させるように構成された締め付け力発生手段（６４、８８、８６、８４）とを有する肩当て。
【請求項２】
制動力作用手段が、脚部５２とほぼ垂直な枢軸（Ｐ）を中心として脚部５２に対して枢動可能な制動レバー（６６）を有し、前記レバー（６６）は、本体の上部（１２）に配置されていると共に、前記圧力印加手段（２６）に固定され周状に傾斜した第２の傾斜手段（１００、１０２）とピッチと傾斜が適合する周状に傾斜した第１の傾斜手段（７６）を備え、それにより第１と第２の傾斜手段が協同して、圧力印加手段を、制動レバーが枢動する方向によって前記軸に沿って上昇させるか又は下降させる、請求項１に記載の肩当て。
【請求項３】
前記締め付け力発生手段が、フォロアピンと、ピンと適合するカム面とを有するカム機構であり、前記カム面と前記ピンの一方が前記ラッチ（４８）内に設けられ他方が前記脚部（５３）に設けられた、請求項２に記載の肩当て。
【請求項４】
前記締め付け力発生手段が、フォロアピン（６４）を有するカム機構であり、フォロアピン(６４）は、支持体（５０）に固定されていると共に、第１のカム面（８８、８６）及び第２のカム面（８２）と適合しており、第１のカム面（８８、８６）及び第２のカム面（８２）は、両方とも制動レバー（６６）に設けられていると共に、支持体（５０）を、本体（１０）の長手方向に、制動レバー（６６）の枢動方向に依存する方向に、前記枢軸（Ｐ）に沿った圧力印加手段の移動と実質的に同時に移動させるように構成された、請求項２に記載の肩当て。
【請求項５】
前記カム機構は、圧力印加手段が上昇位置にあって制動パッド手段（３６）と下面（１４）を制動係合させているときだけ、フォロアピンひいては支持体（５０）を第１の端部から第２の端部の方向に付勢するように構成された、請求項３又は４に記載の肩当て。
【請求項６】
カム機構は、下面（１４）から制動パッド手段（３６）が離れるのと実質的に同時に、フォロアピンひいては支持体（５０）を第１の端部（１６）の方向に付勢するように構成された、請求項５に記載の肩当て。
【請求項７】
第１及び第２のカム面は、関連するフォロアピン（６４）と適合するポケット部分（８４）において互いに隣接しており、肩当てが楽器に付けられた状態で、ラッチ（４８）を解放可能に閉位置に保持する、請求項４に記載の肩当て。
【請求項８】
前記パッド手段が、略長方形の構造を有するゴムＯリングである、請求項１～７のいずれか１項に記載の肩当て。
【請求項９】
バイオリン又はバイオリンと似た楽器と共に使用するための、肩に係合するブリッジを有する肩当てであって、前記ブリッジが、
（ａ）上面（１２）、下面（１４）、第１の端部（１６）、第２の端部（１８）、及び

前記下面（１４）に固定されたクッション部分（１９）を有する細長い本体（１０）と、
（ｂ）前記本体（１０）の各端部（１６、１８）に１個ずつ配置され、関連する楽器と係合する１対の略フォーク状の締め付け部材（１１０）と、
（ｃ）１対の略Ｌ字形の支持体（５０）であって、各々が脚部（５２）と直立部分（５３）とを有する１対の略Ｌ字形の支持体（５０）とを有し、
（ｄ）各締め付け部材（１１０）は、各前記直立部分（５３）に取り付けられ、
（ｅ）前記脚部の各々は、対応する端部（１６、１８）の近傍において前記上面（１２）と一致し且つ本体（１０）の長手方向に摺動可能であり、
それぞれの支持体が、支持体脚部ガイド手段と動作的に関連付けられており、前記支持体脚部ガイド手段は、
（ｉ）前記本体（１０）に設けられ、本体（１０）の長手方向に延在するスロット（２０）と、
（ｉｉ）対応する脚部（５２）の前端の近傍に設けられ、前端をスロット（２０）に沿って摺動的に案内すると共に前記前端が前記下面（１４）から前記上面（１２）に向かう方向に変位するのを防ぐように構成された第１のガイド部材（６０、６２）と、
（ｉｉｉ）対応する脚部（５２）の前端から離れた位置に配置され、脚部（５２）をスロット（２０）に沿って摺動的に案内するように構成された後方ガイド手段（３０、１０８）とを有し、
（ｆ）本体（１０）の各端部に設けられた圧力印加手段（２６、９０）であって、各手段は本体（１０）の下面（１４）に向けられた圧力板（２６）を有し、対応する脚部（５２）の前端から離れた前記位置で対応する本体（１０）に固定された圧力印加手段（２６、９０）と、
（ｇ）各圧力印加手段（２６）と本体（１０）の下面（１４）の間に配置され、それにより、関連する圧力印加手段が下面１４の方に上昇したときに、関連する制動パッド手段（３６）が、関連する圧力印加手段（２６）と下面（１４）の間で圧縮されるエラストマー制動パッド手段（３６）と、
（ｈ）制動力作用手段（４８、９０、４４、５４）であって、ブリッジの前記上面（１２）の各端部に配置されると共に対応する圧力印加手段（２６）と支持体（５０）とに固定されたラッチ（４８）を含み、前記ラッチ（４８）が圧力板（２６）を前記下面（１４）の方向又は前記下面（１４）から離れる方向に選択的に移動させて、関連するエラストマー制動パッド手段（３６）を下面（１４）と係合させるか下面（１４）から離すことにより、関連する支持体（５０）を本体（１０）に固定するか或いは解放して本体（１０）に沿って摺動自在にするように構成された制動力作用手段（４８、９０、４４、５４）と、
（ｉ）対応する支持体の本体（１０）への固定を行うと同時に、各支持体（５０）を対応する端から離れる方向に長手方向に移動させるように構成された締め付け力発生手段（６４、８８、８６、８４）とを有する肩当て。
【請求項１０】
各制動力作用手段が、関連する脚部（５２）に対して脚部（５２）とほぼ垂直な枢軸（Ｐ）を中心として枢動可能な制動レバー（６６）を有するラッチ（４８）を含み、前記制動レバー（６６）の各々は、本体（１０）の上面（１２）に配置され、関連する圧力印加手段（２６、９０）に固定された円周方向に傾斜した第２の傾斜手段（１００、１０２）とピッチと傾斜が適合した円周方向に傾斜した第１の傾斜手段（７６）を備え、それにより、第１及び第２の傾斜手段（２６、１０２）の各々が協同して、関連する圧力印加手段（２６、９０）を、制動レバー（６６）の枢動方向に応じて前記軸（Ｐ）に沿って上昇させるか或いは下降させる、請求項９に記載の肩当て。
【請求項１１】
前記締め付け力発生手段が、フォロアピン（６４）及びこのピンと適合するカム面を有するカム機構であり、前記カム面と前記ピンの内の一方は、関連するラッチ（４８）に設けられ、他方は、関連する脚部（５３）に設けられた、請求項１０に記載の肩当て。

【請求項１２】
前記締め付け力発生手段の各々がフォロアピン（６４）を有するカム機構であり、前記ピン（６４）は、関連する支持体（５０）に固定されていると共に、関連する制動レバー（６６）に設けられた第１のカム面（８８）及び対応する第２のカム面（８２）と適合しており、前記カム機構は、関連する支持体（５０）を、本体（１０）の長手方向に沿って制動レバー（６６）の枢動方向に応じた方向に、前記枢軸（Ｐ）に沿った圧力印加手段（２６、９０）の変位と実質的に同時に移動させるように構成された、請求項１０に記載の肩当て。
【請求項１３】
各カム機構は、関連する圧力印加手段（２６、９０）の圧力板（２６）が上昇位置にあり、対応する制動パッド手段（３６）が制動のために下面（１４）と係合しているときだけ、関連するフォロアピンひいては対応する支持体（５０）を、対応する第１又は第２の端部から遠ざかる反対の端に向けた方向に付勢するように構成された、請求項１１又は１２に記載の肩当て。
【請求項１４】
各カム機構は、関連する制動パッド手段（３６）が下面（１４）から離れるのと実質的に同時に、関連するフォロアピンひいては対応する支持体（５０）を対応する本体（１０）の隣接端（１８）から遠位端（１６）の方向に付勢するように構成された、請求項１３に記載の肩当て。
【請求項１５】
対応する第１及び第２のカム面は、関連するフォロアピンと適合するポケット部分（８４）で互いに隣接しており、肩当てが楽器に付けられた状態で、関連するラッチ（４８）を解放可能に閉位置に保持する、請求項１２に記載の肩当て。
【請求項１６】
各パッド手段が、略長方形の構造を有するゴム製Ｏリングである、請求項９から１５のいずれか１項に記載の肩当て。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
従って、調節機構が、図２、図６、図７に示したロック状態即ち閉状態にあるとき、圧力板２６は、Ｏリング３６とスロット２２及び５６とによってブリッジの本体１０に固定され、本体に対して回転したり摺動したりすることができない。軸受部材９０の穴９６を通ってナット３８に入るねじ４４によって、軸受部材９０が圧力板２６に確実に固定され、従ってブリッジの本体１０に対して動かなくなる。この段階におけるこれら要素の確実な固定は、ラッチ４８の傾斜７６と傾斜部材９０の１０２の相互係合面の間の上昇位置によって達成され、これによりＯリング３６が確実に圧縮される。この段階では、ラッチのレバー部分６６はブリッジ本体１０の長手方向に置かれている。また、この段階において、ラッチ４８の端面６８が凹状ガイド面５８と実質的に一致していることに注意されたい。このとき、フォロアピン６４は、ラッチ４８の下面のカムシステムのポケット部分８４に入っている。